

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



菅野 三吉さん(小宮)

家をリフォームしたんだ。工事で出たごみを早く片付けたい。家の中の線量も、しっかり測り直したいと思って役場に来ました。

村内の避難指示解除準備区域・居住制限区域で、住宅建替え・リフォーム等により発生した廃材（産業廃棄物）の処理については、リフォーム業者等が処理責任を負っています。産業廃棄物処理業者の紹介を希望される方は、リフォーム業者等から、直接、一般社団法人福島県産業廃棄物協会（☎024-524-1953）または、同協会相双方部地域協議会（☎0244-24-4811）へご連絡ください。また、不明な点については、福島県産業廃棄物課（☎024-521-7264）にお問い合わせください。

環境省による宅地周りや農地の除染（未同意の部分を除く）は、平成28年12月までに全ての箇所で行われました（地力回復工事は継続しています）。また、除染後の放射線量については、環境省がモニタリング調査を継続しています。家屋内などを含め、ご自分で計測してみたい方へは、村が線量計の貸し出しも行っています。貸し出しの申し込みの他、質問・相談などは、村復興対策課除染対策係（☎0244-42-1625）までお寄せください。



高野 吉正さん(前田・八和木)

避難指示が解除になったら、村に戻り営農再開したいと思っています。生計をたていくために、どういうものを作付けしたらよいものか、考えているところです。

復興対策課農政係は、来年度からの、米・野菜の作付けや牛の出荷の再開を目指す農家の方の意向をふまえて、村内での水稻実証作付け、主要野菜の出荷制限・摂取制限解除に向けた実証栽培、繁殖牛の飼養実証などを、精力的に行っています。

また、営農再開を希望する農業者の皆さん一人ひとりにヒアリングを行い、営農計画や営農再開に必要な施設・機械等を取りまとめ、国・県の事業を効果的に活用するための準備も進めており、先日高野さんにも来庁いただいたところです。

中断していた農業を再開するには、施設・機械等ハード面の準備や、除染後の農地の土づくりなどに加えて、各品目ごと生産者ごとの県によるモニタリング検査の受検や吸収抑制対策など、避難前にはなかった放射性物質対策も必要になります。農政係では、これまでの実証・試験で収集した知見やデータをもとに、再開予定品目やほ場に適した補助事業や対策について、国・県・JA等と連携して情報提供を行っています。自家用の米・野菜等の作付けを含めて、復興対策課農政係（☎0244-42-1621）まで、お問い合わせください。



いいたて 歳時記 その21

冬はソリが大活躍

冬に大活躍したのがソリでした。乗って遊ぶだけではなく、冬の学校の行き帰りや、重いものを運ぶ時にも使いました。今は、カラフルなプラスチック製のソリがたくさん売られています。昔は、自分で作ったソリに乗っていたそうです。材料となる木は、サクラ、ナラ、ホウノキなど。根曲りのスギや、木の股なども利用し、細部の工夫もしました。舵をつけたり、乗る場所に木の箱をつけたりする人もありました。遊びに使う簡単なソリなら、俵のボッチ（米俵の両側に当てる円形のフタ）や、肥料用の袋を利用したものもありました。

冬には、また、炭焼きの仕事がありました。営林署から木の払い下げを受けて、材料の木を伐採しました。その木を運ぶのもソリでした。炭焼き用の木を運ぶソリは、とても大きくて、馬が引く「馬ソリ」でした。地区によっては、田んぼに水を張り凍らせて、スケート場を作りました。スケート場では、ソリ遊びやスキー遊びもできました。スキーも、竹を割り、火であぶって先端を曲げ、手作りしていたそうですよ。



水を張り凍らせた田んぼで

参考：飯館村発行「飯館村史 第3巻 民俗」

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
細川 琉翔くん	智・りえ	上飯樋
佐藤 暉翔くん	脩平・結衣	前田・八和木

すくすくと元気に育ってね

〈お詫びと訂正〉  
広報いいたて12月号の「誕生おめでとう」の記事で「鹿山美希子さん」のお名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。



ひとのうごき

ひとのうごき		11月1日～30日までの人口動態	
(平成28年11月30日現在)		◆◆◆人口動態◆◆◆	
人口	今月(前月比)	転入	2人
男	3027人(-12)	転出	5人
女	3101人(-4)	出生	2人
世帯数	6128人(-16)	死亡	15人
世帯数	1833戸(-4)	(住民基本台帳人口)	

結婚おめでとう

氏名	出身地
高橋 正弥	小宮
安齋 仁海	二本松市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 昌一	82	飯樋町
佐藤 静江	82	関沢
菅野 昭三	88	関根・松塚
末永 リチ子	84	小宮
笠原 龍藏	75	深谷
菅野 スイ	86	比叡
高橋 安正	91	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月14日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

2017年は酉(とり)年です。干支の「酉」は「ニワトリ」のこと。鳥というニワトリを思い浮かべる人も多いそうで、なじみ深い鳥といえます。さらに、日本人はニワトリの産卵を一人あたり年間300個以上消費しているというので世界トップクラスです。やはり、ニワトリにはずいぶんお世話になっているわけですね。2017年も、ニワトリのように勇ましく、飛ぶ鳥を落とす勢いで1年のスタートといきましょう。閑古鳥は追い払い、あわよくば一石二鳥でたくさんのご利益を...なんて▼ともあれ、皆さんにとって、2017年が健康で、笑顔あふれるよい年になりますように。本年もよろしくお願いたします。(木幡)